

ニヴフ語話者が所有する録音資料について

白石 英才

キーワード: Nivkh, West-Sakhain dialect, digital sound archive

2007年9月7日から26日にかけて、「危機に瀕した古アジア諸語の類型的・系統的多様性に関する調査研究」(研究代表者: 呉人恵 文部科学省科学研究費補助金、基盤研究B)の一環として北サハリンのネクラソフカ村を訪れた。調査の主たる目的は話者からの聞き取り調査であったが、滞在中、当地で話者が所有する古いカセットテープをデジタル化して保存するよう依頼を受け、カセットテープを19本渡された。テープの所有者はヴェーラ E・ヘイン氏¹ (1929-) であり、録音の多くもヘイン氏が行ったと推測される。現在、ヘイン氏は療養生活を送っており、筆者に直接保存の依頼をしたのはヘイン氏を自宅に引きとつて介護を続けている親戚のヴァレンティナ F・チャフカン氏である。

渡されたテープはすべて日本に持ち帰り、順次デジタル化した。その目録を表1に示す。

T番号	内容	時間(分)	録音日
1A	会話、シャマンの実演(ショイグク氏との記述あり)。	30	91.11.15
1B	シャマンの実演(ショイグク氏との記述あり)。	30	不明
2A	前半は1Aのコピー。後半はニヴフ歌謡	47	91.11.15
2B	ニヴフ歌謡。ニヴフ語朗読(F.ムイグン氏の声と思われる)。	14	91.11.15
3A	ニヴフ歌謡。口琴。子どもによる詩の朗読。	32	不明
3B	ニヴフ歌謡。会話。	30	不明
4A	会話(V.ヘイン氏、Ch.タクサミ氏、中川裕氏ほか)、笛の演奏、歌謡。	47	90.8.4
4B	口琴、笛(ショイグク氏の演奏との吹き込みあり)	4	91.11.16
5A	会話(V.ヘイン氏ほか)。ニヴフ歌謡。	31	不明
5B	シャマンの実演、ニヴフ歌謡。	29	不明
6A	ニヴフ歌謡、口琴。	32	不明
6B	ニヴフ歌謡、会話、口琴。	30	不明
7A	4Bのコピー	4	
7B	4Aのコピー	47	
8A	笛。	4	不明

¹ 氏の詳しい経歴については『ニヴフ語音声資料3』(白石英才・ガリーナ・ローク編)を参照されたい。

8B	録音なし。		
9A	白石も同席したオハのヤーリナ宅での会話。	30	01.9.18
9B	白石も同席したオハのヤーリナ宅での会話。	30	
10A	会話、歌謡(ロシア語も)、シャマン実演。一部破損のため再生不可。	20	不明
10B	会話、ニヴフ歌謡。一部破損のため再生不可。	12	不明
11A	口琴。デジタル化後、破損し再生不可となる。	2	不明
11B	ロシアンポップス。		
12A	録音なし。		
12B	ロシア語会話、ロシア民謡の合唱。	30	不明
13A	ロシアンポップス。		
13B	ロシアンポップス。		
14A	会話、ロシア民謡。	30	不明
14B	会話、ロシア民謡。	1	不明
15A	歌謡。破損のため一部再生不可。	19	不明
15B	破損のため再生不可。		
16A	ニヴフ歌謡、ロシア民謡、会話	23	不明
16B	口琴、ニヴフ歌謡、会話	3	不明
17A	蝶管のコピー（蝶管番号 3083との吹き込みあり）	46	
17B	蝶管のコピー（蝶管番号 3090との吹き込みあり）	44	
18A	ロシアンポップス		
18B	ロシアンポップス		
19A	ロシアンポップス		
19B	ロシアンポップス		

表1 ヴェーラ・ヘイン氏所有のカセットテープ一覧

渡されたテープのすべてがニヴフの言語と文化にかんするものではないことも判明したが、ニヴフにかんする録音内容は多岐にわたり、民族の言語と文化を記録して残そうとするヘイン氏の熱意が伝わるライナップである。なお、テープの表面には断片的ながら録音状況についてのメモがあるが、録音日などの重要な情報が欠落しているものも多い。ただテープの製造年などから推測するに、録音の多くは 1980 年代から 1990 年代にかけてなされたものと思われる。したがって、すでに故人となつた方の音声や演奏が収録されていることも予想され、今後、話者の特定を含めた内容の検証を録音の場に居合わせた人々と行うことが急務である。また一部のテープにすでに破損が見られ、再生でき

なかつたことからも、今後こうしたテープの保存を図ることも緊急の課題である。

(しらいし ひでとし・札幌学院大学経済学部)

Archiving old tape-recordings of Nivkh

SHIRAISHI Hidetoshi

Summary:

Speakers of an endangered language often document their language by themselves. Some people make tape-recordings, write down folktales or compile dictionaries. Linguists may provide technical and/or financial support to such activities, as is done by the author for some sound recordings of Nivkh, which are recorded by a speaker of the West-Sakhalin dialect of Nivkh.